

1 連体詞 …一語だけで常に体言を修飾する。

2 連体詞の主な例

「の・が」 この／その／あの／その／どの／例の／ほんの／わが

「な」 小さな／大きな／おかしな／いろんな

「る」 ある／あらゆる／さる／きたる／いわゆる／あくる

「た・だ」 たいした／ばかげた／とんだ

3 紛らわしい連体詞

・ いろんな → 連体詞？ 形容動詞の連体形？ → × いろんなだ → 活用できない

よって…：いろんな＝連体詞

・ 小さな → 連体詞？ 形容詞「小さい」？ → 形容詞の連体形は「小さい時」で別の語

よって…：小さな＝連体詞

一 次の各文から連体詞を一つずつ抜き出して書きなさい。

① 地球にはあらゆる動物が住んでいる。

あらゆる

② これはどのケーキよりもおいしいケーキだ。

どの

③ 台風のあるる日の朝、庭に葉っぱが散乱していた。

あくる

④ 犯人に素手で立ち向かうなんて、たいした人だ。

たいした

二 次の各文の―線部が連体詞ならば○、連体詞でなければその品詞名を書きなさい。

「存在する」という意味がある＝動詞

① 私が作家であることを近所の人には話していない。

動詞

② この服か、あの服かどれにしようか迷うなあ。

○

形容詞「大きい」の連体形

③ 大きい肉まんを二つぐらい食べたいと願う。

形容詞

④ クラゲになりたいなんて、おかしなことを言うもんだ。

○

⑤ わが中学校に来ていただいて、感謝します。

○

